



学校だより



2月号

令和8年 1月31日
江戸川区立瑞江小学校

オリンピック・パラリンピック教育

副校長 小出 紀幸

1月は大寒の頃から本格的な寒さになりました。東京は晴れた日が続いていますが、日本海側は大雪のようです。2月10日(火)からは5年生のウインタースクールですが、スキー場の雪は十分にありそうです。出かける3日間、穏やかな天気であることを願っています。

2月6日(金)から22日(日)まで、イタリアのミラノやコルティナダンペッツォで第25回冬季オリンピックが開催されます。また、3月6日(金)から15日(日)には第14回冬季パラリンピックが開催されます。選手の皆さんの活躍が楽しみです。

冬季オリンピックは、夏のオリンピックの初開催から28年後の1924年に第1回大会が行われました。しばらくは同じ年に夏と冬のオリンピックをしていましたが、1994年の第17回大会以降は夏のオリンピックの中間年に行われるようになりました。日本でもこれまでに1972年に札幌で、1998年には私の出身地である長野で、冬季オリンピックが実施されました。

オリンピック・パラリンピックが開催される都市では「オリンピック・パラリンピック教育」が行われます。東京でも2021年の夏季オリンピックでは都内の全公立学校でオリンピック・パラリンピック教育が行われました。4つのテーマ(オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境)と、4つのアクション(学ぶ、観る、する、支える)を多様に組み合わせた教育活動によって、「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」という5つの資質の育成を図りました。

東京大会前の平成28年度、私は東京都の教育研究員として「オリパラ教育」の研究・開発に携わりました。理科の授業の中でオリパラ教育を取り入れられるよう、オリンピック・パラリンピックを契機とした環境問題の啓発や改善の事例を題材として取り上げました。第6学年の児童が環境問題について理解を深め、「自分たちに何ができるかを考えさせる授業」を作り、研究発表会で公開授業を行いました。

残念ながらコロナ禍での開催となったことで、東京都のオリパラ教育も計画通り実現できなかったものが多くありました。東京大会は終わりましたが、東京都ではオリパラ教育で培ったボランティア活動やアスリート出前授業、パラスポーツ体験などの様々な取組みを、「学校2020レガシー」として現在でも継続して取り組んでいます。瑞江小でも年度ごとに様々ですが、アスリートの招聘や伝統芸能体験、パラスポーツ体験などの取組みが続けられています。

ちなみに、校庭の校長室前に立っている旗ポールは、1964年の東京オリンピックの時に旧国立競技場で参加各国の国旗掲揚に使われたものだそうです。

